

夢がある
誇りがある
音楽がある



炭坑閉鎖の波に揺れる街。
いくつもの思いを胸に秘め、
今、彼らの心はひとつになる。



【ロスト・ワールド】
【トレインスポットティング】
【ウェルズの山】
ピート・ポスルスウェイト / ユアン・マクレガー / タラ・フィッツジェラルド
監督/脚本: マーク・ハーマン 音楽: トレヴァー・ジョーンズ 演奏: グライムソープ・コリアリー・バンド
1996年/イギリス/カラー/107分/ドルビー-SR
推薦: (社)全日本吹奏楽連盟 / 日本吹奏楽学会 / 日本吹奏楽学指導者協会
サントラ盤: BMGジャパン / 提供: アミューズ・シネカノン / 配給: シネカノン
97年 ベルリン国際映画祭正式出品作品
97年 サンダンス・フィルム・フェスティバル オープニング招待作品



Brass
ブラス!

「この街が消えても、決して無くしてはならないものがある」



そして彼らは
ロイヤル・アルバートホールを目指した。
人間の尊厳と街の誇りを賭けて!

♪ 炭坑閉鎖の波に揺れる街。人々は生きる希望さえも失いかけていた。そんな時、彼らの心をひとつにし、勇気と希望を与えてくれたもの、それは音楽だった。炭坑夫の仲間達で結成された伝説あるグリムジー・コリアリー・バンドは、街のそして彼ら自身の尊厳と誇りを賭けて全英選手権に出場し、決勝大会が開催されるロイヤル・アルバートホールを目指した。崩壊してゆくコミュニティを舞台に、音楽と共に生きる喜びと、友情に支えられた人生の素晴らしさを感動的に描いた話題の映画「ブラス!」。本国イギリスはもちろんヨーロッパ、アメリカでも大ヒットを記録し、世界を駆けめぐるブラスの響きが、遂に日本にも上陸する!!

♪ 主演は『ロミオ&ジュリエット』『ロスト・ワールド』などで知られる名優ビート・ボスルスウェイト。スピルバーグからも絶賛されたその深みのある

演技で熱い思いを残してくれる。そして「トレンスポットティング」で一躍トップスターの仲間入りを果たしたユアン・マクレガーが素朴な青年役を好演。またヒロイン役を「ウェルズの山」のタラ・フィッツジェラルドが爽やかに演じる他、脇を固める俳優達のキャラクターを見るだけでも大いに楽しめ、絶好調のイギリス映画の奥深さを堪能できる。

全ての音楽ファンに贈る 極上のプレゼント。

♪ この映画のモデルになったのが、イギリスでも最高の人気を誇るグリムジー・コリアリー・バンド。映画は彼らが実際にたどった運命を基に作られている。そして彼らの演奏によって、誰もが知っている数々の名曲が、鳥肌が立つ程の迫力と繊細さで生まれ変わり、ラストシーンではあたかもロイヤル・アルバートホールの観客席に座っているかのような、全く新しい体験として観る人々を圧倒する。まさにこの映画の真の主人公は「音楽」である!

グリムジー・コリアリー・バンド 1917年に炭坑夫の余暇活動として結成され、瞬く間に人気バンドとして知れ渡る。91年には参加した8つのコンテストのうち6つで優勝(他も2位と3位)する実力を誇っていた。そして結成75周年にあたる92年、炭坑の閉鎖に伴い活動が危ぶまれながらも全英選手権で見事に優勝する。その後も厳しい状況の中でなんとか持ちこたえ、遂に95年スポンサーが名乗りを上げて見事に再建される。再び人気バンドの地位を取り戻し、96年のヨーロッパ選手権では居並ぶ各国の強豪の中でも最高の拍手喝采を受けている。

[海外評]

●ヨークシャーの炭坑夫とその妻たちのユーモアと勇気と尊厳が、これほど感動的に描かれたことはなかった。そしてこれほど素晴らしい映画も長い間なかった。……………『デイリー・ミラー』紙 96年11/19号

●一人一人輝いている俳優が、アンサンブルによってさらにお互いを輝かせ、観る者は皆な、笑いと涙を誘われる。特にビート・ボスルスウェイトの決勝大会におけるスピーチは、完璧で本当に素晴らしい。これはイギリス映画史上に残る一本である。……………『ワッツ・オン・イン』誌 96年11月号



ブラス!

Brass (原題:BRASSED OFF 1996年/イギリス/カラー/107分/ドルビーSR/1:1.66)

2/28(土)-3/13(金)

アンコールロードショー

シネマアルゴ梅田

御堂筋沿 梅新東映会館南となり
06-343-1691

待望のロードショー!!

3/14(土)-3/27(金)

三宮アサヒシネマ

中央区役所山側
078-221-0898

3/28(土)-4/10(金)

京都みなみ会館

九条大宮、近鉄東寺駅西へ150m
075-661-3993